

<h1>取扱説明書</h1>	絶縁 2 出力プロセス計装用変換器 11・RACK シリーズ
	<h2>開平演算器</h2> <h2 style="float: right;">11FNS</h2>

◆◆◆◆◆

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

◆◆◆◆◆

### 概要

**(主な機能と特長)**

11FNS は、差圧式流量信号を流量にリニアな信号に変換する、ラック（ネスト）収納形の開平演算器です。

### 設置

設置には次のような場所をお選び下さい。

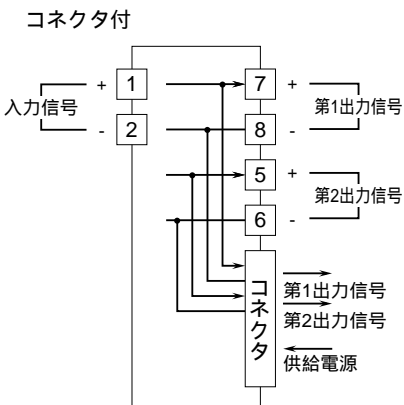
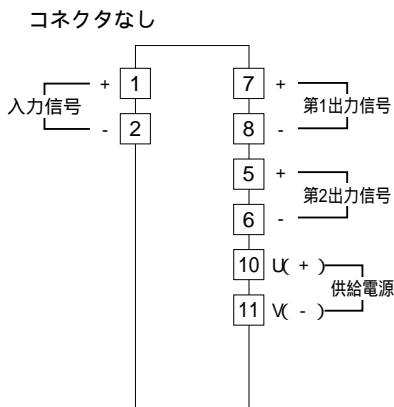
- 屋内で、周囲温度が -5 ~ +55 の場所
- 湿度が 30 ~ 90 %RH で、結露しない場所
- 雨や水のかからない場所
- 腐食性ガス、粉塵や振動のない場所

取付は、11・RACK 専用ネスト 11BX をお使い下さい。

### 接続

各端子の接続は下図の要領で行って下さい。

#### 端子接続図



### 調整

弊社では入力に対して基準精度内に調整して出荷しております。校正するときは次の要領で行って下さい。

模擬入力信号を 1 % 相当値に設定し、ZERO で出力を 10 % に合わせます。

模擬入力信号を 100 % 相当値に設定し、SPAN で出力を 100 % に合わせます。

再び、模擬入力信号を 1 % 相当値に設定し、出力が 10 % になっていることを確認して下さい。

10 % 出力がずれているときは、 ~ の操作を繰り返して下さい。

なお、第 2 出力については校正の必要はありません。

### 点検

端子接続図に従って結線がされていますか。

供給電源の電圧は正常ですか。

コネクタなしの場合、端子番号 - 間をテストの電圧レンジで測定して下さい。

コネクタ付の場合、ネスト（形式：11BX）に正常な電圧が供給されていますか。また直流電源の場合、リップル含有率が 10 % p-p 以下のものを使用して下さい。

入力信号は正常ですか。

入力端子 +、- 間に正常な電圧が現れているかテストの電圧レンジで測定して下さい。

出力信号は正常ですか。

入力信号と出力信号の対応が下表の様なれば正常です。

入力信号 [%]	出力信号 [%]
1.0	10.0 ± 0.25
4.0	20.0 ± 0.25
16.0	40.0 ± 0.25
36.0	60.0 ± 0.25
64.0	80.0 ± 0.25
100.0	100.0 ± 0.25

負荷抵抗は正常ですか。

負荷抵抗値が許容負荷抵抗を満足するか確認して下さい。

### 雷対策

雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器 <エム・レスタシリーズ> をご用意致しております。併せてご利用下さい。

### 保証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後 3 年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。